

平成19年7月24日 水環境創造課

電話 内線 (4347)

直通 (076-225-1491)

## 環境省「環境技術実証モデル事業」実証技術の選定について

環境省の標記モデル事業（湖沼等水質浄化技術分野）の実証機関となっている本県において、「河北潟西部承水路における内部生産抑制等実証技術」を公募したところ、6技術の応募があり、石川県環境技術実証委員会（委員長：寺田喜久雄金沢大学名誉教授）により2技術が選定された。

- 1 技術の名称：高効率オゾン・高濃度酸素溶解処理  
環境技術開発者：株式会社サリック（金沢市南塚町）  
ガソ発生装置製造：株式会社ワイビーエム（東京都中央区）
- 2 技術の名称：浄化藻床樋による自然浄化工法  
環境技術開発者：有限会社パイプ美人（福井県福井市）  
緑藻類藻床製造：有限会社セイキ環境管理（千葉県鎌ヶ谷市）

### （参考）

#### 1 環境技術実証モデル事業の概要等

当該事業は既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等に客観的な評価が行われないため、普及が進んでいない先進的な技術について、第三者が客観的に実証することにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進するものである。

#### 2 選定の経緯

(1) 募集期間 5月18日から5月31日

(2) 石川県環境技術実証委員会 7月13日

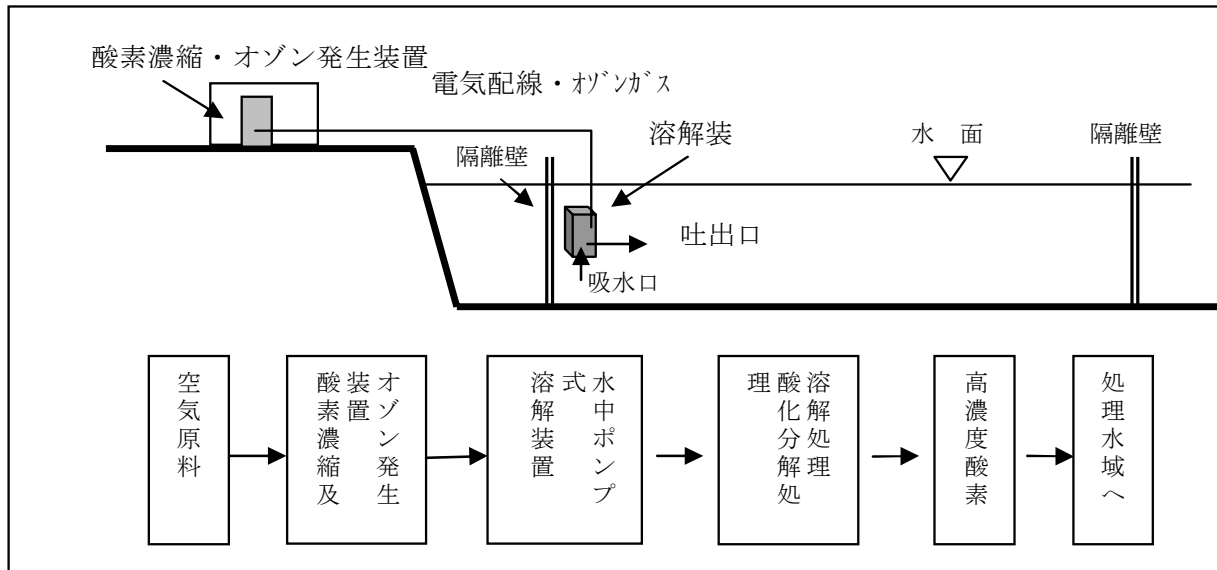
#### 3 今後の予定

(1) 県が実証試験計画を策定 7月中

(2) 県が実証試験実施（3月に環境省に報告） 8月～10月

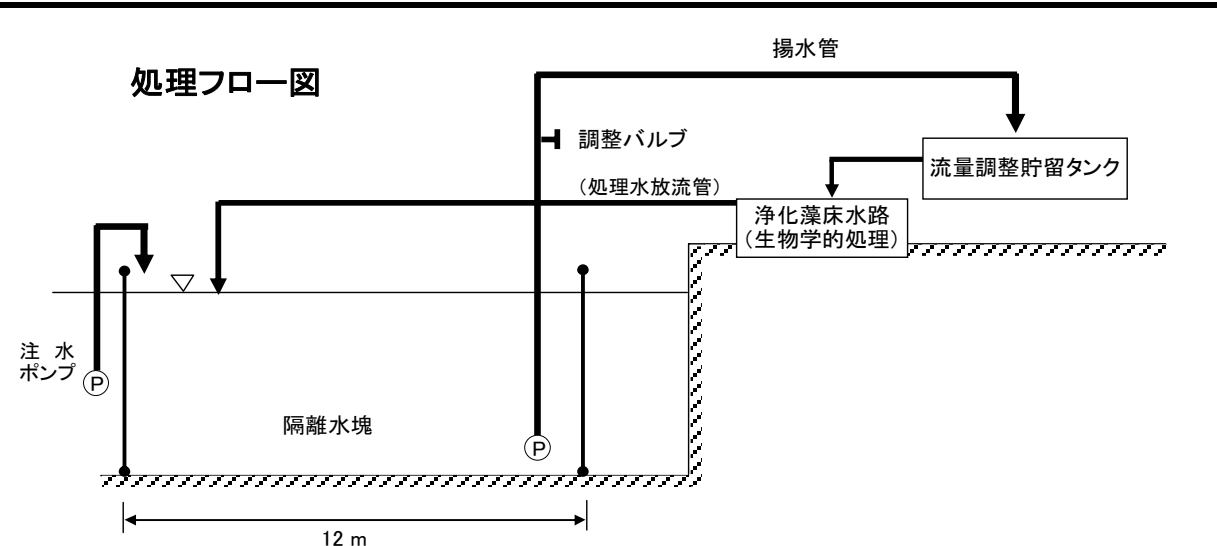
平成19年度環境技術実証モデル事業 対象技術

○高効率オゾン・高濃度酸素溶解処理  
環境技術開発者：株式会社サリック(金沢市南塚町)



高効率の気液溶解装置を利用して処理水と濃縮酸素及びオゾンとを混合攪拌し、反応させる。処理水中の有機物はオゾンにより酸化分解され、生物分解を促進するとともに、濃縮酸素を処理水中に溶解させて、高濃度酸素水を処理水域に吐出し好気性環境を形成することで生物処理を促進する。

○浄化藻床樋による自然浄化工法(グリーンプラント工法)  
環境技術開発者：有限会社パイプ美人(福井県福井市)



浄化藻床水路へ導水し、繊維状形態藻類の物理作用、生物作用によって、SS成分の濾過、栄養塩類の吸収を行う。また、水路の藻床には溶存酸素も増加し、水路の稼動と並行して藻床内の微生物作用によって有機物の分解・吸着が促進される。